

信州を代表する焼き物  
まつしろやき  
**松代焼**

真田幸村の兄、信之が初代藩主となった松代藩。歴代の藩主は、町づくりや産業振興に力を尽くし、十代250年にわたって10万石の城下町を守り継いできました。松代焼も藩の産業開発のひとつとして、七代幸専（ゆきたか）の時代に開窯したのが始まりとされています。陶土には鉄分の多い地元の粘土等を使用し、灰、白土、銅などの天然素材で調合した釉薬を二重掛けすることで、独特な青緑色の光沢を出しているのが松代焼の特徴。口元に付けた釉薬が窯の中で溶け出して流れ落ちる「青流し」によって、形は同じでも同じ色合いはひとつもない唯一無二のものとなります。松代焼は自然で素朴な風合いを持った日常生活で使いやすい器として、古くから使われてきた伝統工芸品です。

松代焼作陶会：松代陶苑／あまかざり工房／唐木田陶園／陶房ひがしやま  
松代焼は長野県が指定する伝統的工芸品です。

このチラシは長野県長野地域振興局で作成しました。

令和6年1月

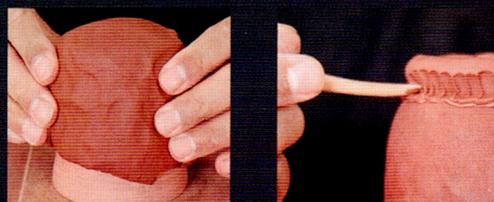
真田十万石の  
城下町松代で

**陶芸体験  
しませんか？**

体験はワンコイン(500円)から!

手ぶらでOK!

作品は後日焼き上げてお届け!



陶芸体験の詳細・体験のご予約方法は  
裏面をご覧ください。 →